

平成29年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成29年6月24日(土)			会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室	
開始時刻	午後6時30分			終了時刻	午後7時50分	
参加者数	男	14人	女	5人	合計	19人
出席議員	宮西 佐作		砂田 喜昭		尾山 喜次	
	白井 中		藤本 雅明		吉田 康弘	
司会進行	藤本 雅明			記録	議会事務局	

議会報告会での意見交換(事前にいただいた質問の紹介と回答)

意見等の要旨	議員回答の要旨
<p>・人権差別について 社会が経済活動中心となり、人権差別があると強く意識する様になった。どうか、そのような状況を解消してもらえないか。</p>	<p>人権問題は重要な問題であると考えています。今回は幅広い内容でお問い合わせいただいておりますが、具体的な内容をお示しのうえ、ご相談いただきたいと思います。</p>
<p>・上下水道の整備について 小矢部市下水道基本計画見直しについての地区説明会を実施されたが、住民の理解が得られず苦慮している。計画の見直しが行われたことにより、市当局から示された下水道を整備するかしないかの線引きを決める基準により、地区で2軒、上水道と下水道の同時着工がされない事になった。地区の特殊性などを考慮し柔軟に対応して欲しい。</p>	<p>この件について、市当局への確認を行っています。当初は当該地区の全世帯が上下水道ともに整備すると説明を行っていたが、その後、国が推進している10年概成の方針が示され、市内の未整備地区(全体の1/3)を10年で効率よく整備するには、下水道と合併処理浄化槽が混在した形で推し進めるしかなく、どこで切り分けるかという線引きをする際に一定の基準を設けて線引きをせざるを得なかったということです。 議会としても先の6月議会において、この件に関しては地元住民に十二分に説明しご理解いただきながら事業を進めるようにとの意見書を市当局に提出しているところです。議会としても地元住民の方に理解を得たうえで、事業を進めていただきたいと思います。</p>
<p>・政務活動費の使途基準について 政務活動費の使途基準について、公的か私的かはっきりしない場合に、按分という曖昧な考え方があるが、公金を使う場合には、公明正大でなくてはならない。使途基準に存在する按分の条項を削除するべきである。</p>	<p>小矢部市議会においては、議員の自主判断として、按分条項に類するものは政務活動として支出していません。按分条項は、例えば、議員が市民の方に向けて活動報告紙を配布しているが、その内容が100%政務活動として認められるものであればいいのですが、後援会に関する記載がある場合は按分する必要があるかも知れません。その可能性のために必要であると考えます。現在は、このような按分は行っていませんのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>・産業廃棄物の処理について 当地区では、産業廃棄物が山のようになっているところがある。処理する必要があるのではないか。</p>	<p>市が窓口となって廃棄物の処理にあたっていくことになるので、市の窓口である生活協働課へまずはご相談いただきたいと思います。 現場では、現物、所有者、置いてある理由や、搬出予定時期等を確認し、危険が予想される場合には早急に撤去するよう注意喚起を行います。産業廃棄物であれば適法に処理することが大事です。商品や資材等として所有の意思を持って保管している場合は、周辺の方からの苦情を踏まえて早期に撤去をお願いするという事になると思います。</p>
<p>・議会改革について(関連する4つの質問に対して一括回答) ①議員は名札をつければいいのか ②議員定数を10名に減らせばいいのか ③いつも同じ議員ばかり質問しているが、調整すればいいのか ④質問回数、内容、態度で議員のボーナスに差を付ければいいのか</p>	<p>小矢部市議会の議員は当初30名でしたが、22名、18名と徐々に数を減らし、現在16名となっています。他市の状況を見ると、合併時に相当数を減らしている状況ですが、本市は他市に先駆けて、過去に削減を行っている状況にあります。 ご質問の件については、先般の6月議会で設置した小矢部市議会改革協議会において協議したいと思います。</p>

平成29年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	平成29年6月24日(土)	会場名	農村環境改善センター 農事研修室・農産研修室
議会報告会での意見交換(概要)			
意見等の要旨		議員回答の要旨	
<p>・政務活動費の使途基準について【事前提出あり】 政務活動費において、ガソリン代、インターネット代、携帯電話代等の按分は透明性を欠く。議会の見解を伺いたい。</p>		<p>按分条項を使っていたことは過去にはありましたが、今は議員の自主的な判断で自粛しているところです。 按分条項の削除については、今後、議会改革協議会で検討させていただきたいと思ひます。</p>	
<p>・議員定数の削減について【事前提出あり】 前回の市議会議員選挙では、無投票だった。2～3名ほど定数を減らす考えはないのか？</p>		<p>前回は無投票でしたが、そのことだけでなく、人口や面積、地区数等の様々な条件を総合的に考えて、議論しなければならないと思っています。これらの点を踏まえて、いただいた意見も参考にしながら、議会改革協議会で協議していきたいと思ひます。</p>	
<p>・議会報告会について 今回の議会報告会は、津沢コミュニティプラザと2会場での開催だったが、会場が分かれていると全ての議員の話が聞けないので残念である。1会場で全議員が揃うような形で開催できないか。</p>		<p>今回、2会場で開催にした理由は、色々な地区の方の声を聞きたいという思いからです。1会場で行うと、参加者一人一人の声はこちらに届きにくい傾向があります。 参加しやすさや意見の出しやすさ、議会として皆さんにお伝えしたいことがきちんと伝わるためには、どのようにすればいいのか試行錯誤しながらやっていきたいと思ひます。頂いたご意見も参考にしながら今後の議会報告会の開催方法を考えていきたいと思ひます。</p>	
<p>・デマンド式乗合タクシーについて 先ほどの委員会からの説明のなかで、デマンド式乗合タクシーの実証実験の話があったが、利用者が少ない場合は廃止もあり得るのか。</p>		<p>利用者の声や、利用実績の結果を踏まえて、本格運用に備えるものと思っております。</p>	
<p>・デマンド式乗合タクシーについて 既存の市営バスとデマンド式乗合タクシーでは料金の違いはあるのか。</p>		<p>市営バス・デマンド式乗合タクシーともに料金は200円です。</p>	
<p>・あいの風とやま鉄道の利便性向上について あいの風とやま鉄道について、高岡止まりの便が多く石動駅まで電車が来ないことが多い。市民の利便性向上のために、朝晩の通学通勤の時間帯の増便に向けて市当局と力を合わせて要望してもらいたい。</p>		<p>ご要望の件は、まさに議会でも議論をしているところです。今後とも石動駅での折返し運転も含めて、当局とともに増便に向け力を尽くしていきたいと思ひます。</p>	
<p>・能越自動車道の無料化の件について 能越自動車道の無料化に向けた取り組みについて詳しい状況を教えてほしい。</p>		<p>議会としても再三、市当局に確認を取っているところですが、まだ最終的な会合が開かれていないと聞いており、現状では料金体系について確定的なことは申し上げられせん。詳細な内容が決まり次第、ご報告したいと思ひます。</p>	